



誰も取り残されない船橋市へ！

無所属・教師7年・ITエンジニア

さ こん

左近りょう通信



～プロフィール～

33歳。茨城大学理学部卒業。高校物理教師7年、現ITエンジニア。ソフトテニス指導者。一児の父。飯山満町・七林町スクールガード。飯山満団地自治会。2025年船橋市議会議員補欠選挙 22,904票
趣味：登山、サッカー観戦、妻の吹奏楽演奏会に行くこと(皆勤)

【重点政策】→詳細は [HPに記載](#)

① 生活への支援を第一に

効果の見えないシステムにお金を使っている船橋市の現状を見直し、税負担の軽減にあてることで、貧困や物価高の生活を支援できる体制をつくります。

② 誰もが住みやすい船橋市に

海外からの旅行者や住民が増えるなか、対応が地方に任されており、現場ではさまざまな課題もあります。誰もが気持ちよく暮らせる地域づくりを進めます。

③ 子どもに最大の投資を

明るいまちの中心は子どもです。子育て支援金の充実・保育士の待遇アップはもちろん、育休後の社会復帰サポートにも取り組み、安心して子育てができるまちに。

④ 学校教育現場を疲弊させない

学校の先生は疲弊しています。教育がもっと魅力に溢れるよう、行政の立場からサポートします。

⑤ テレワーク推進で多様な働き方を

船橋市から東京に通勤されている方は多いと思いますが、通勤による体力消耗は決して無視できません。市内の環境整備により、共働きの時代に合った働き方を推進します。

⑥ お年寄りを社会から孤立させない

デジタル化は恩恵もある一方で、機器に慣れていない人を孤立させていきます。新しい知識や人とのつながりを得られる、生き生きとした老後生活を支援します。

⑦ 地方自治を守る

船橋市のことを船橋市民が決める、当たり前の意思決定の権利を守ります。

他にもさまざまな施策を取り扱っています。

いつでもお気軽にご相談ください！

【タウンミーティングのお知らせ】予約不要／当日参加 OK

○2/14(土) 9時～12時 パソコン・スマホ講座

簡単なスマホの設定から、パソコンを使った本格的なプログラミングまで、参加者の希望に応じた内容で講座を実施します。(場所：薬円台公民館 第1集会室)

○2/28(土) 9時～12時 行政手続きサポート・地域お悩み相談

行政手続きでお困りの方にヒアリングをし、その場で申込完了まで行います。地域に関するご相談も承ります。☆子連れさま歓迎(場所：薬円台公民館 第1和室)

地域交流
イベント

【自転車利用のルールが変わります】

2026年4月1日から、日本の道路交通法の一部が改正され、**自転車にも「交通反則通告制度(青切符)」が正式に導入**されます。これまで自転車の違反は主に警察官の注意・指導でしたが、今後は携帯電話を操作しながらの走行や信号無視、歩道走行・逆走などの違反に対して、反則金が科されるようになります。例えば、ながらスマホ運転では最大1万2000円、赤信号無視や歩道走行では6000円程度の反則金が設定される予定です。

船橋東警察署の管轄エリアでは、**①津田沼駅北、②高根木戸駅通り、③北習志野商店街**を「自転車指導啓発重点地区・路線」に指定し、重点的な啓発・指導・取締りを行います。詳細は警察署のホームページをご確認ください。

自転車指導啓発重点地区・路線 (船橋東警察署)

この地区でよく見られる自転車利用者の違反形態

- 通行区分を守らない
- 一時不停止
- 携帯電話使用

警察では、自転車運転者の信号無視等に対し、指導警告を行うとともに、悪質・危険な交通違反に対しては検挙措置を講ずるなど、厳正に対処しています。

自転車事故発生状況(R2~R6)	
区分	船橋東警察署管内
	重点地区
発生件数	621 / 17 (件)

★自転車を運転する人は次の点に気を付けましょう!★

- 1 自転車は、車道通行が原則!**
自転車は原則として車道通行です。ただし例外もあるので、歩道や路側帯を通行する時は、歩行者等の通行を妨げないようにしましょう。
- 2 歩道は、歩行者優先!**
自転車が走行できる歩道でも、車道寄りやすく止まれるスピードで走行し、歩行者が立ち止まったり、避けなければならない時は一時停止しましょう。
- 3 「止まれ」では確実に一時停止を!**
一時停止の標識や停止線のある場所や見通しの悪い交差点では必ず一時停止しましょう。

【重点地区】北習志野商店街

➢ **選定理由**
北習志野駅の商店街で、自転車と歩行者との事故の危険性が高く、自転車マナーに関する要望も寄せられているため。

重点地区

地図調整 c株式会社バスコ
cジオテクノロジーズ株式会社

【障害・不登校を考える教育イベントに参加】

1月11日、「第25回 障害のある子どもの教育を語り合う全国学習交流集会 in 千葉」が開催されました。私は、駅頭活動でも数多くご相談をいただいている不登校に関する現地企画に参加しました。

船橋市では令和2年以降、不登校児童生徒が急増しています。必修内容の肥大化やSNSの普及など、学校の内外で子どもを取り巻く環境が大きく変化していることが背景として指摘されています。当日は、現役教師、保護者、スクールカウンセラー、フリースクール関係者など、さまざまな立場の方々と意見交換を行いました。

学校に行く子ども、行かない子ども関係なく、すべての子どもが健やかに成長できるよう、今後も尽力してまいります。

第25回 今年から集会の名称が新しくなりますよ

障害のある子どもの教育を語り合う全国学習交流集会 in 千葉
(全国障害児学校&学校学習交流集会)

開催要綱

昨年同様24回目を迎えた「全国障害児学校&学校学習交流集会」という名称を、第25回の年から「障害のある子どもの教育を語り合う全国学習交流集会」に変更することになりました。障害のある子どもたちは普通学級でも学んでいます。より多くの子どもと学ぶ機会にしたいという思いを、幼稚園・小学校・中学校・高校の普通学級の教職員のみならず、さまざまな関係者の方々、保護者の方々、学生のみならずにも広げてもらえるように集会の中身も工夫しました。今回の集会では、2日目の午前中のみこころの通達で普通学級での交流を促す講座、午後の国の実践発表の他、4分枠では、普通学級の実践レポート展示もあります。障害のある子どもたちの発達を促す教育をすすめていくために、互いに学びあいを語り合えましょう。みなさん、是非ご参加ください。

今年度の集会のテーマ
学び合い、語り合い、つながり合う
～子どもたちの輝きを探して～

